

田原市SDGs推進方針について

【1】SDGs（持続可能な開発目標）とは

- SDGs（エス ディー ジーズ：「Sustainable Development Goals」）とは
2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までの国際社会全体の開発目標で、17の目標（ゴール）と169のターゲットから構成されている。
- SDGsの推進にあたっては、誰一人取り残さない世の中を作っていくことや、経済・社会・環境の統合を目指すことが重要であるとされており、その目標達成のためにはすべての国、自治体、産業界、市民等の関係者がパートナーシップの下で行動に移していく必要があります。
- わが国においては、政府にSDGs推進本部が設置され、平成29年12月に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略2017改訂版」において、SDGsの推進は、地方創生に資するものであり、その達成に向けた取組を推進していくことが重要とされています。
- 本市においても、地方創生に向けた取組の推進とあわせて、持続可能な開発目標（SDGs）についての理解を深めていきます。



【2】SDGs（持続可能な開発目標）における17目標



目標1 貧困をなくそう

あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



目標2 飢餓をゼロ

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



目標3 すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



目標4 質の高い教育をみんなに

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



目標5 ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



目標6 安全な水とトイレを世界中に

すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する



目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



目標8 働きがいも経済成長も

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する



目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう

強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る



目標 10 人や国の不平等をなくそう
国内および国家間の格差を是正する



目標 11 住み続けられるまちづくりを
都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする



目標 12 つくる責任 つかう責任
持続可能な消費と生産のパターンを確保する



目標 13 気候変動に具体的な対策を
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



目標 14 海の豊かさを守ろう
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



目標 15 陸の豊かさを守ろう
陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



目標 16 平和と公正をすべての人に
持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する



目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう
持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

【3】田原市におけるSDGs推進の方向性

1 改訂版第1次田原市総合計画について、SDGsと関連付けて推進します。

- 改訂版第1次田原市総合計画では、低成長・成熟化の時代を迎える中、経済成長を前提とした社会問題の解決は困難であり、市民誰もが幸福を実現することができる環境を創造するため、行政は市民が幸福を追求できる環境を整え、市民の活動を下支えしていくこととしています。
- 田原市では、まちづくりの理念として「みんなが幸福を実現できるまち」を掲げ、市民の参加と協働のもと、市民の幸福度を高める取り組みを推進しています。
- この総合計画における取組の方向性は、SDGsの理念や目標と一致しており、総合計画における40施策とSDGsに掲げられた17目標とを関連づけることとしました。
(別紙「改訂版第1次田原市総合計画における基本計画の施策体系とSDGsの対応表」)
- 総合計画の各施策を着実に推進することにより、世界目標であるSDGsの達成にも貢献していきます。

2 市民・団体・事業者と連携するとともに、SDGsの取組について周知・啓発を図ります。

- 本市は、SDGs達成に向けた取組と官民連携の推進を図るため、「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」に入会しました。今後、他の団体等との情報交換や先進事例を収集することにより、取組を推進していきます。
- また、市広報紙や市ホームページにより、市民等への周知・啓発を図ります。

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム

会員数：992団体（令和元年9月末現在）

（都道府県、市町村：401団体、関係省庁：13団体、民間団体等：578団体）

3 今後の取組について

- 総合計画における各施策の評価指標を確認することで、SDGsの達成に向けて持続可能なまちづくりを推進していきます。
- 今後策定する各種計画等において、SDGsの目標を明示していきます。
- 各種イベントなどを実施する際に、積極的にSDGsについて周知します。
- 職員研修等を通じて、職員のSDGsについての意識向上を図ります。

関連情報

- ・国際連合広報センター

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

- ・外務省 HP

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>

- ・首相官邸 HP

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sdgs/>